希望の車いす

ニュースレター

No.7　2008年6月1日

～　世界におくろう　愛と　希望の車いす　～

マニラのジェームズ君

発起人
メリー・ペナー

日本ではまだ寒い日が続いた３月、会議と研究のために暑いタイ王国のチェンマイと、フィリピンのマニラに旅行する機会がありました。休暇のための旅行ではありませんでしたが、タイ料理に感激し、新しい友人に出会い、気分一新できる素晴しい旅行でした！その上、タイ旅行の同行者の方々が希望の車いすの働きに賛同して下さり、皆で６台の車いすを運び、チェンマイのラジャナカリンドラ小児発育協会（RICD）の車いす事業部に寄贈することが出来ました。この事業の取締役であるサマイ医師が、施設を案内して下さいました。RICDの包括的なリハビリ計画は、障害を持っている子どもの父親の参加も促します。子供がリハビリを受けている間、親が手工芸品を製作し販売する施設があります。リハビリに通う子ども達のために、新しいおもちゃの貸し出しも行っていました。そこには日本から寄贈された玩具が沢山ありました。「希望の車いす」が、このような優れた福祉事業に協力出来ることを、大変嬉しく思いました。

ジェームズ君

マニラも、車いすを必要としつつ、さまざまな事情から購入、入手することが出来ない方々が沢山おられます。そのような人々の援助にご尽力している方々とお会いすることができました。帰国後、現地の状況をしっかり把握している方々と綿密に連携し、フィリピンに２２台の車いすを寄贈することが出来ました。写真は、そのうちの２台を受け取った方々です。

ジェームス君（１１才）はキリスト教会の合唱団の団員で、タンバリンを叩きながら歌うのが大好きな少年です。

先天性奇形で、下肢がありません。内臓疾患があるために、義足を使うことが出来ませんので、これまではプラスチックの洗面器に体を乗せて、サンダルをはめた左の手を使って移動していました。　教会の牧師から、ジェームズ君の為に車いすの要請がありました。寄贈式で、ジェームス君の名前が呼ばれた時、会場には足音の代わりにシュー、シューと洗面器が床をこする音が響きました。現在奨学金を受け、障害者のニーズを満たしてくれる私立小学校で教育を受け、弁護士になるという夢を持っています。　ジェームス君の将来が明るいものでありますようにと、心から願い、応援します！

もう一人はバリンゴドさんという６５歳の女性です。両足に部分的麻痺があります。夫、娘、二人の孫と共に生活していらっしゃいます。娘さんが車椅子を届けた際には、「これで外出できます！」と、大変喜んでおられました。ジェームズ君、バリンゴドさんが車いすを使えるようになったのはボランティアの皆様のご協力の結実です。　心から御礼申し上げます。

バリンゴドさん

★ NPO法人認証

「希望の車いす」は２００８年２月７日、“特定非営利活動法人希望の車いす”として千葉県からの認証を受け、４月２４日第一回の年次総会を開催しました。
以下は内閣府の掲載ページです。
www.npo-homepage.go.jp/npoportal/Portal_detail

★ 電話番号について

NPO法人として、常時お問い合わせに対応できるよう電話を設置しました。
電話番号も変わりましたので、ご確認下さい。

０４２４-１０-０８１４

★ クリーニングデー

４月２４，２８日，５月５日クリーニングデーを開催しました。
６月以降の日程は以下のとおりです。１～２時間の参加でも歓迎いたします：）
ご都合の付く方はどうぞご予定に入れてください。

会場：松川プレース

- ６月２４日
- ７月３日、２９日
- ８月４日
- ９月１５日

（６月２９日は、水戸聖書バプテスト教会で行います）

★　車いすの行き先

3/2　チェンマイ（タイ）　6台
4/24～4/28
　マニラ（フィリピン）　20台
5/13　セブ（フィリピン）　2台
5/15　チェンマイ（タイ）　1台

★　ホームページ

http://k-kurumaisu.org/